

謹賀新年

癸卯

〈2023年〉

昨年は、2月にロシアによるウクライナ侵攻が起り、また10月には中国の習近平独裁体制が進み、中国の台湾侵攻も現実味をおびてきて、今までのグローバル化の流れが崩れ、世界の新たな覇権の構図が大きく変わった年でもありました。

その中で日本は経済的には円安が進み国力の低下が顕著になる中で、中国や北朝鮮、ロシアという隣国の覇権国家へのリスクに対する備えも遅れていて、今年は国防においてリスクの高い年となりそうです。

一方、スポーツでは昨年の東京オリンピックに続き、冬季オリンピックでの日本選手団のメダルラッシュ、MLBでは大谷選手の大活躍、そしてサッカーワールドカップでベスト16への進出等、明るい話題の多い年でもありました。

今年は「癸卯（みずのと・う）」の年で、癸卯は厳しい冬が終わり、春の兆しが訪れ草木が萌芽始める年で、停滞した世の中に希望が芽吹き、これまで積み重ねてきた自身の力が試される年となっています。

夢を諦めずに希望を持ち続ける事が大事な鍵となりそうです。

昨年も徳真会グループでは、多くの患者様に御来院頂きました。治療の分野では、元東京医科歯科大学歯学部長で接着MI (Minimal Intervention) 治療の世界的権威であられる田上順次先生の加入により、新たな治療分野（極力削らない）が広がった年でもあります。

また、根管治療においても、マイクロエンドの普及、矯正治療においては従来のワイヤーを用いない治療（インビザライン）の導入等、新たな治療の取り組みを積極的に行った年でありました。

今年、徳真会グループでは次の課題に取り組んでゆきます。

① <診療部門>

- 1、在宅サービスの拡充（全地区）
- 2、無料送迎サービスの拡充（新潟、仙台、福岡地区）
- 3、保育士による、患者様のお子様無料一時預かりサービスの拡充（全地区）
- 4、歯科衛生士による、患者様ケア体制の充実により、かかりつけ歯科施設としての受け入れ強化
- 5、マイクロエンド治療のドクター養成による根管治療のレベルアップ
- 6、オーラルスキャン（従来の型取りをしないデータ送信のやり方）とミリングマシンによる補綴物の作製により技工物の納期の大幅短縮と品質の安定化
- 7、リマインドメールによる予約、リコールの告知システムの普及拡大
- 8、クリニックマネージャーの育成強化による現場対応力の強化

② <技工部門>

- 1、口腔内デジタル印象とミリングマシン（自動切削器）の活用拡充により患者様への負荷を減らし、技工物納期の短縮と品質の平準化と効率化を行う
- 2、外部技工所との連携強化により技工界を健全な業界へと変革してゆく
- 3、東京センター移転拡張（1月）でデジタル化推進による納期短縮と品質安定化と効率化
- 4、大阪センター移転拡張（6月）でデジタル化により海外からの受注を可能にする
- 5、アメリカ Sales Office 開設（シカゴ、ニューヨーク、ホノルル）による国際的受発注システム構築
- 6、バンコク（タイ）デザイン&ミリングセンター開設

③ <管理部門>

- 1、働き方改革による異種雇用推進と国際的人材獲得
- 2、社内起業家の育成
- 3、IT化、デジタル化の更なる推進強化による運営精度の向上と効率化
- 4、Tケア（グループ内清掃、営繕会社）による施設管理、清掃管理の徹底

以上を今年の課題とし、高水準の医療を快適に適正な価格で安心して受診頂ける診療現場の実践と国家依存度の高い歯科業界から国家貢献度の高い組織創りを行ってまいります。

お気づきの点や、御要望があれば何なりとご指摘いただければ幸いです。

今年も皆様にとって良い年となります様祈念致しております。

（徳真会患者様ご相談窓口 TEL：0120-24-7072）

2023年 正月

徳真会グループ
理事長 松村 博史



明治神宮 五輪橋から撮影した冬至の日の出（冬至の日に表参道から日が昇る）
（撮影：徳真会グループ 理事長 松村 博史）

「一陽来復」（陰極まりて陽に転じる）